

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校だより

2019. 9. 10. NO14

発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いつくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。

「せ~の!いち、に」が今年も始まりました!! -グラウンドにこだまする雄叫びとかけ声-

台風15号が運良く過ぎ去り、ほっとしたのもつかの間、ここ連日は猛暑が続いています。今日から朝練習も始まり、グラウンド中に西中生の大きなかけ声や笛の音が響き渡りました。その声を聴くと、毎年西鐘祭の取り組みも佳境^{かきょう}になってきたなど実感します。と同時に、いつもムカデや長縄跳びを朝から懸命に練習する生徒達のパワーに感心し、とてもうれしくなります。



今日は朝から気温30℃を超えましたが、1.2校時に体育部門のリハーサルも行われました。体育部門員を中心にしっかりと全競技の動きを確認しました。本番は部門のリーダー、縦割りグループやクラスのリーダーの指示を生徒がしっかりと聴き、声を掛け合って動く、そんな体育部門をめざしてほしいと思います。いよいよ西鐘祭まであと4日、15日の日曜日にも快晴に恵まれる天気予報で、今年も3年生のリーダーシップのもと、素晴らしい西鐘祭になる予感がします。ご期待ください。

-朝練習の様子-



体育部門リハーサル



はじめの言葉



開会式 担当の部門員

体操の隊形に異動



入場場所に整列



準備に全力疾走の3年体育部門員の生徒
先頭になって動く姿が伝統になります。

